



◆Topic◆

自分が進む道は —意志をもって歩む—

先日、2年生対象に「先輩と語る会」が行われました。卒業生17名（大学1年生から社会人まで）が後輩のために熱心に話をしてくれました。その話の中で「**学歴フィルター**」に関する話題が登場しました。簡単に言えば就職活動をするとき、ある一定レベル以上の大学でないとはエントリーシート（申し込み書のようなもの）を出しても目を通してもらえず面接にたどり着けないというものです。4年生の卒業生A君とB君に聞くと、東京の有名私大に通っているA君はほぼ全てのエントリーシートが通り、某製薬会社に就職が決まったそうです。しかしB君の知人で、人物は優秀だけど事情があって（知名度の低い）別大学に通っている人はこのエントリーシートの段階ではねられてしまい、なかなか面接にこぎ着けることができず困っているというものでした。残念ながら「学歴フィルター」は実在し、人物ではなく大学で人が選別されている。これは事実のようです。世の中には〇〇ランキングというものが巷にあふれており、就職に強い大学ランキングというものも存在します。内訳を見ると大ざっぱに言って大学入試ランキングとよく似ています。つまり難しい大学に入ることがいい就職につながるということになります。

ところで、**いい就職とは何でしょう**か？この就職ランキングはいわゆる人気のある大企業にどれくらい就職できるかというものの差で測っています。「大企業=いい就職=いい給料=安定した生活・幸せな人生」という図式を考える大人は多いです。実際これで順調に人生を歩んでいく人も多くいます。しかしこれだけが人生ではありません。A君はこんなことも言っていました。「でも企業はちゃんと人も見ているよ。何ができる人物かをしっかり見ている。だから東大出ても就職できない人はいます」。そうです「**何ができるか**」これが重要なのです。大企業が経営難に陥る時代です。「いい就職」ではなく「いい人生」のために何をしたらよいか、何となく過ごすのではなく、**意志を持って人生を歩む**ことが大事な時代なのです。

数日前、東京お台場で交通ルールを無視し、警官の制止の声にも耳を傾けずポケモンGOをやりながら移動する大群の映像をニュースで見ました。「レアなポケモンをゲットする」ためにそれ以外のことは耳に入れず、正しいかどうか判断もせず、人の迷惑も考えず、ただ漠然とゲーム会社がついた実在しない目標に向かってひたすら突き進んでいく人の大群を気味悪く思いました。「いい大学」や「いい就職」という誰が決めたかわからないようなものを無意識に目指すのではなく、自分は精一杯努力して何ができるのか、何ができれば充実感があるのか、そんな観点で**自分の未来を意識して考えてみましょう**。ただし「努力して」という部分は大事です。努力なしに幸せを得ようとするのは都合良すぎです。努力をして**自分の限界を乗り越える経験**をすると、自信がついて幸せに一步近づけると思っています。まずは一步一步前進、眼前の勉強から**意志をもって始めましょう**。（文責：岡崎）

『3年の窓』 さあ、追い込んでいく季節です。 ~センターまであと何日？~

10月になりました。センター試験まであと残り何日ですか？もちろん言えますよね。

さて、勉強できる時間は全員に等しく同じ時間が割り当てられています。そのような中で、いかに効率よく（質を高く）やっていくかがカギだと思います。時間の量だけなら受験生はみんなやっていますよ。今の段階で時間量だけで満足していませんか？内容や質は伴っていますか？一度、確認してみてください。国、数、英に関しては基礎基本をマスターして発展的な問題まで解いていく時期だと思います。社、理は新しい範囲を確実に覚えつつ、今まで範囲も復習していきましょう。国、英、数の暗記系や社、理はこの時期からでも十分に伸びしろがあるといわれます！！

ところで、すでに入試を経験し、合否が出た生徒もいると思います。10月末には早ければ推薦入試が始まってきます。「友達が合格した！」や「ダメだったらしい。」など、一喜一憂する場面も徐々に増えてきますが、一般入試で勝負する生徒は周囲に流されることなく、自分を信じて着実に力をつけていきましょう！まだまだこれからです！！学校の自習室も開放中です！！みんなで切磋琢磨しながら、諦めず最後までやりきろう！！！！（文責 波勢）

♪2年の窓♪ 模擬試験＝練習試合？

以前模試結果が返却されたときだったでしょうか。こんな声を耳にしました。

「どうやって勉強をすれば模試で点が取れるのかな？」。

確かに模試の結果はモチベーションや危機感にはつながっていきます。ですが模試はいい点がとれて一喜一憂するためだけのものではないはずです。模試というのは部活動の練習試合みたいなものです。「どうやったら練習試合で勝てるか？」だけを考えて臨むでしょうか？もちろん、場合によっては「絶対に勝ちたい練習試合」もあると思います。ですが、多くの場合、普段の練習では見えてこなかった課題を実戦の中で見つけること、そしてその克服のために今後どのような練習をしていけばいいのか、をはっきりさせることに練習試合の意義はあるのではないのでしょうか。

「点が取れなかった」「答えを間違えた」こと自体を問題とするのではなく、どうして取れなかったのか、何が理解できていなかったのかを知ること、そしてもう一度その問題を出されたとき、同じ間違いをしないように復習をすることこそが大切だと思います。

「間違える」、ということはまだまだそこから力を伸ばせる余地があることを意味しています。模試対策も必要ですが、それ以上に模試の復習を大切にしてください。

2年生にとって勝負どころは1年3か月以上先です。今を凌ぐため、目先の結果のための勉強ではなく、先を見据えた勉強を意識してほしいと思います。

♪1年の窓♪ ～1年の半分が過ぎた今～

早いもので、1年生も半分が過ぎました。前期期末考査の結果はどうでしたか。考査は自身の授業における理解度が試される試験です。思うようにできなかった人は授業や課題に臨む態度を改め、2か月後の後期中間考査でリベンジを果たしていきましょう。

さて、少し前ですが先月10日の総合的な学習の時間で皆さんは「進路」に関して2つのことを学びました。以下で簡単にまとめたいと思います。

1. 【進路検証】

7月に行われた模擬試験の結果を自分自身で分析し、次回(10.29)に行われる模試に向けての目標を立てました。校内試験と違い、全国のライバルを相手に挑むのが模試です。大学進学を意識しつつ、模試対策も万全に！

2. 【職業まるわかり講座】

「自分の興味のある職業をされている方から、生の声を聞く良い機会になった」とアンケートで多くの人が応えていました。自分の将来の「職業」を意識することで、今後の進路選択が明確になり、また、学習へのモチベーションにもつながります。先月の総合を今一度思い出して、今後の学習に生かしていこう！（文責：立田）